

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社エフアンドエム	都道府県	大阪府
業種	サービス業	従業員数	394
事業概要	中堅中小企業向け経営力強化支援サービス 個人事業主及び小規模企業向け会計サービス 中堅中小企業向け管理部門支援サービス 税理士・社労士等士業向け経営支援サービス		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務制度実施ルール
テレワーク担当部署	管理本部
テレワーク対象者	正社員
実施者数	約130名
実施日数	概ね週2～3回

## テレワークの導入・拡大の経緯

家族の転勤、育児、介護などのライフイベントによる離職の防止、新たな雇用の創出を目的としてテレワークの導入を開始。並行してテレワークを通じた社員の業務効率化や生産性向上ならびに顧客満足向上にも着手。顧客である中堅・中小企業から当社のテレワークを評価いただき、テレワークの導入支援を要請されるケースが増加。

## テレワークの概要・特徴

### ●在宅勤務支援

顧客管理システムやオンラインストレージサービスを活用することで就業場所に縛られない勤務を可能にした。インターネット電話を常時つなぐことで、会社と社員がお互いの勤務状況を把握することも可能になった。

### ●ITツールの有効活用

無料もしくは安価な市販のITツールを活用してテレワークを実現。遠隔地の顧客や社員との打ち合わせはテレビ電話（スカイプなど）を活用。顧客との資料のやりとりはオンラインストレージサービスを活用。顧客管理システムで情報を一元管理し、タブレット端末等とアクセス可能にすることで場所を問わずに事務作業ができる環境を創出。

### ●テレワークの顧客からの要望

テレワーク＝多額な開発投資が必要と思われる顧客に当社のテレワークを体験していただくことで、経済的負担の少ない当社のテレワークを実際に導入したいという声が多数寄せられている。

## テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

### ●新たな雇用形態の創出

通勤しない勤務形態が可能であることを立証できた。今後増加が見込まれる家族の転勤、介護、育児などのライフイベントによる離職の防止、新たな雇用形態を創出する仕組みづくりに着手できた。

### ●業務効率向上と生産性向上

タブレット端末等で依頼業務や顧客情報の更新などの事務作業を社外で完結させることが可能となり、時間を効率的に使えるようになった。また、全国の顧客とテレビ電話によるオンライン面談を行うことで、移動時間の短縮、面談回数の増加、顧客都合を優先した柔軟なコミュニケーションを可能にした。

### ●テレワークの普及促進

当社の経済的負担の少ないテレワークは、顧客である中堅・中小企業、個人事業主からも支持を受け、テレワークの導入支援を要請されることも多い。結果、当社のみならず中堅・中小企業、個人事業主へITツールの有効活用によるテレワークの輪を広げられている。